

第40回総会・懇親会の開催

総務部会

高林 幹雄

北海道ふるさと会連合会の第40回定時総会・懇親会が5月13日(土)千代田区の日本教育会館「喜山倶楽部」で66団体のふるさと会・企業会員、来賓を合わせ計120名が出席し、開催された。

定刻午前11時、三村副会長の開会の辞に続いて、高橋照美会長よりご挨拶があり、奥山副会長が総会定足数を確認し、総会議長に杉村豊相談役を選出、議事に入った。

平成28年度事業報告と収支決算書が各部署の副会長より報告の後、池田俊一監事から監査報告があり、第一号議案、第二号議案について一括して質疑応答がなされた。新年交礼会の支出額の予算と実算の差について質問があった。三村総務部会長から「知事の挨拶でプロジェクトを新規に借りた費用や、会の終了後に役員慰労会を行った事の費用が追加になった」との説明があり、池田監事から予算策定時の見立てが不十分だったのではとの補足の意見があった。会費を1万円から1万5千円に値上げした事により、産直フェアの悪天候等による不測の事態での補償がされるか? との質問があった。



これについて奥山事務局長から「値上げは事務的経費の赤字解消のため(前年度総会で提案)で産直フェアの不測の事態に対処する目的でない」旨の回答がなされた。高橋会長

から「来年、連合会は創立40年となり40周年記念事業を行いたいと考えている。実行委員会を立ち上げ事業内容を決定したい。」との提案があった。

続いて第四号議案(平成29年度事業計画案)と第五号議案(平成29年度収支予算案)の一括審議を行った。奥山事務局長より今年度は40周年記念事業準備金として15万円準備費に計上した。との報告がなされた。両議案についての質問はなく原案通り可決承認された。第6号議案役員改選の件について、奥山事務局長から役員選考委員会の立ち上げと経過について説明があり、高橋会長に報告了承を得たとの報告がなされ、会長、副会長、監事の選任について原案通り可決承認され、高橋守副会長の閉会の辞で総会は終了した。

引き続き会場を「光琳」に移し、勢旗加代子理事の司会進行により、高橋会長の挨拶、続いて来賓としてこの4月に赴任された近藤晃司北海道東京事務所所長を紹介し挨拶を頂いた。

企業会員の今井俊之サッポロビール(株)法人営業部専任部長の乾杯の発声により懇親会に入った。

懇親会では新会員の東京陸別会植田英範事務局長が紹介され、ふるさとのPRや「楽しくやっていきたい」との挨拶があった。又昨年入会された二つのふるさと会、東京羅臼会・東京雨竜会から1年間の感想とふるさと自慢や抱負を述べられた。

今回から進行役がベテランの阿部理事から勢旗理事に代わり大変にご苦労されておりましたが、新鮮な雰囲気では盛り上がりを見せ大変に良かったと思います。最後に田中井清司理事の三本締めで懇親会を終えた。

勢旗理事に代わり大変にご苦労されておりましたが、新鮮な雰囲気では盛り上がりを見せ大変に良かったと思います。最後に田中井清司理事の三本締めで懇親会を終えた。